学校番号	２０８

平成 31 年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「美術１」　（光村図書出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

表現形式の特性を生かして形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練る「絵画・彫刻」、表現形式の特性、形や色彩などの造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練る「デザイン」、色光、視点、動きなどの映像表現の視覚的要素を工夫して表現の構想を練る「映像メディア表現」、美術作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、理解を深める「鑑賞」の分野について学習します。

2　学習の到達目標

芸術の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動の様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	鑑賞ワークシート 鑑賞態度・姿勢

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術の授業について	【鑑賞】 ・オリエンテーション 教科書その他の資料、生徒過去作品等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。	○			○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。	ワークシート 学習活動の様子
	迷路パネルの壁掛けを作ろう	【デザイン】【鑑賞】 ・過去作品の鑑賞 各種特徴的な発想、デザインの作品を鑑賞する。 ・アイデアスケッチ 与えられた条件の中で独創性のあるテーマを決め、それに沿ったデザインを各自考える。 ・制作 厚さ1ミリの厚紙、ベニア合板、アクリル板の加工を行い、アクリル絵の具による着色により作品を仕上げる。 ・相互鑑賞・プレゼンテーション(全体)	○ ○ ○ ○	○ ○	○	○ ○ ○	a:多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 b:表現形式の特性、形や色彩などの造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練っている。 c:特厚紙、ベニヤ合板の加工を巧みに行い、デザインの目的、機能、美しさなどを考え、創造的な表現方法を工夫して表している。 d: 作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品

2学期	立体的なトリックアートを作ろう	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・資料の鑑賞 錯覚や視覚のトリックを利用した作品として、教科書やその他の資料、過去作品を鑑賞する。 ・アイデアスケッチ 各自に様々な建物の資料（含むデジタル画像）を集め、発想を練る。 ・制作 視点を変えることによって絵が変わって見える、立体的な作品の制作を行う。 ・相互鑑賞・プレゼンテーション（全体）	○ ○ ○ ○	○ ○	○	○ ○ ○	a：多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 b：表現形式の特性を理解し、形や色彩、明度などの造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練っている。 c：目的、美しさなどを考え、巧みに描画、着彩し、創造的な表現方法を工夫して表している。 d：作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品
	アニメーションを作ろう	【映像メディア表現】【鑑賞】 ・資料の鑑賞 教科書他、パラパラアニメの資料を使い、残像の効果を活かしたアニメーションの動きの仕組みを理解する。 ・アイデアスケッチ 人、動物、植物、物等中心となるキャラクターを設定し、その動作や周りの風景、環境をイメージし、動きを工夫する。 ・制作 残像の効果を利用してパラパラアニメーションを作成する。アニメーションはビデオカメラで撮り、保存する。 ・相互鑑賞・プレゼンテーション（全体）	○ ○ ○ ○	○ ○	○	○ ○ ○	a：アニメーションの表現方法やその文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 b：映像メディアの特性を踏まえ、目的を基に主題を生成し、視点や動きなど視覚的要素を工夫して表現の構想を練っている。 c：ビデオカメラ関連の用具の特性や機能などを理解し、意図に応じた効果的な表現方法を工夫して表している。 d：作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品

3学期	人物を描こう	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・過去作品の鑑賞 明度分解、グラデーション技法を使った過去作品を鑑賞する。 ・制作 作品の基となる写真資料を各自で用意し、与えられた条件で明度分解して、アクリル絵の具で着彩する。立体感のある個性的な作品の制作を行う。 ・相互鑑賞・プレゼンテーション（1年間の美術のまとめを兼ねる。）	○ ○ ○	 ○	 ○	○ ○	a：多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 b：表現形式の特性、形や色彩などの造形要素の働きを考え、表現の構想を練っている。 c：目的、機能、美しさなどを考え、グラデーションの技法をうまく使い、創造的な表現方法を工夫して表している。 d：作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品

※　表中の観点について　a：美術への関心・意欲・態度　　b：発想や構想の能力
　　c：創造的な技能　　d：鑑賞の能力

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。